

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公開番号】特開2005-84559(P2005-84559A)

【公開日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-319117(P2003-319117)

【国際特許分類】

G 0 9 G	3/36	(2006.01)
G 0 2 F	1/133	(2006.01)
G 0 9 G	3/20	(2006.01)
H 0 3 K	17/22	(2006.01)
G 0 6 F	1/24	(2006.01)

【F I】

G 0 9 G	3/36	
G 0 2 F	1/133	5 5 0
G 0 9 G	3/20	6 2 2 B
G 0 9 G	3/20	6 7 0 D
H 0 3 K	17/22	B
G 0 6 F	1/00	3 5 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月28日(2006.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】液晶パネルの駆動回路

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液晶パネルの表示データ線にソースドライバを介して表示データを供給し、液晶パネルの走査線にゲートドライバを介して操作信号を供給する液晶パネルの駆動回路であって、前記液晶パネルの電源投入時に、電源の立ち上がりに同期して前記ゲートドライバにリセット信号を供給し、前記ゲートドライバの全出力端子をオフ状態にし、前記ゲートドライバに入力される操作開始信号の立ち上がりに同期して前記リセット信号の供給を解除し、前記ゲートドライバの全出力端子を通常動作状態に戻すパワーオンリセット回路を備えることを特徴とする液晶パネルの駆動回路。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、液晶パネルを駆動する駆動回路に使用されるゲートドライバの全出力端子を、電源が投入されてから操作が開始されるまでの間オフ状態にするパワーオンリセット回路を備えた液晶パネルの駆動回路に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記問題点に鑑み、電源投入時にリセット信号を供給してゲートドライバの全出力端子をオフ状態にし、操作開始信号の入力時に上記リセット信号の供給を解除してゲートドライバの全出力端子を通常動作状態に戻すことにより、電源投入時における液晶パネルの画面のちらつきや異常表示を回避することができる液晶パネルの駆動回路を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の請求項1記載の液晶パネルの駆動回路は、液晶パネルの表示データ線にソースドライバを介して表示データを供給し、液晶パネルの走査線にゲートドライバを介して操作信号を供給する液晶パネルの駆動回路であって、前記液晶パネルの電源投入時に、電源の立ち上がりに同期して前記ゲートドライバにリセット信号を供給し、前記ゲートドライバの全出力端子をオフ状態にし、前記ゲートドライバに入力される操作開始信号の立ち上がりに同期して前記リセット信号の供給を解除し、前記ゲートドライバの全出力端子を通常動作状態に戻すパワーオンリセット回路を備えるものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本発明にかかる液晶パネルの駆動回路は、電源の投入をトリガとしてリセット信号を出力するので、電源投入時の内部信号の状態が不定であったり、電源投入時に不定な信号を出力したりする回路において有用である。